夢

東

書

畫

錄

こう コリケナセの人を選んない。 成親王 定遠方潛順子箴輯 五寸五分三方接裱共八十二行辟王字諸帖三五色粉地金花笺今尺高九寸六分寬一丈一尺 紙相仿似非 一臨絳帖卷 時所書 訂 姪男臻 朗杜洲編校 桐城許奉恩叔平 得嘉典皆金閣 The state of the state of

世界 原書 建五公里 一名 已酉六月三日臨脩丙司本王氏諸帖 鹽 皇十一子臨 晴也已<u>酉</u>一月卅七日皇十一字戲識 製箋漫臨絳帖數段雖不寫山陰張侯帖然甚盼時 齊語 印晉 樹茲堂

近づ、計画性学性は必ず一人ととしてい 成规 乾隆五十六年仲春上澣 藏經 **蓮社圖記筆意精妙在趙子昻文衡山之間** 開十行行十六七字蠅頭小楷書浴 **小楷小冊** 紙本今尺高三寸五分澗 皇十一 了 **斯**拉 四寸 神賦樂毅 計十 殺婦婦

EN STREET STREET 淵 **匝題簽分書秘** 後 頁簽紙書四上 和 紙本今尺高 年甲辰 散出爰輯 和六州 開毎 當與此開 日輪直校 集月簽云此記數字爲獨閣學罩溪 **文直閣事與褚廷璋** 開唱 理 王寅三 和鈴秘閣校理 分澗六寸九 檢 爲秘閣唱和集四 閱 ·勿忽已已中元後 人官厨設饌午 彭 起入直 冠 印第 學士 册

字等印後鈐鐵床道人珍藏宏農楊氏世家等 星橋宗泰詩五首陳伯恭崇本詩二首每冊首均十八首張石公塡詩八首鮑雅堂之鍾詩七首顧 詩二十三首季絅齋學錦詩三首程魚門晉芳詩 鈴有楊繼震雙蝌印繼震二字四靈邊印幼雲二 六首通計七十二頁頁十一行內得翁單溪方 冊首頁有朱葆湻繪圖一 日楊繼震御記於京邸之又一 一幅是冊唱和詩凡六 蘇齋南窗下 稠 EN

記では自治言は見る水を入ることし、 國朝名 地焚香閉閣眠簟紋如水帳如烟客來梦覺知 等 十二頁後有潘正煒題跋引首金箋標題香垣蕨 **邑左右修竹一客兀坐撫琴枯筆澹墨意極蒼勁** 紙本長狹不等彙裝三王吳惲顧高徐諸家畫 沈史雲題後有潘跋鈴潘印正烽 人山水冊 神妙品聽帆樓藏二印 M 一頁高不及七寸濶九寸餘枯本寒林隔溪茅 河陽潘氏書 凹 何

12分に山三下三百人或 1/47 1 第一頁高七寸五分澗一尺五分山色澹遠平處挂起西窗浪接天 小乘客寫 礰 歸客字上 吟詩坐隱清溪石竹裹長看竹外 第三頁高七寸二分澗九寸八分高 老樹脫葉修竹高竿嫩籜密布竹間泉流迴曲跨 以石梁過橋茅亭一角僅露其頂右聳奇石玲 可愛鉛季彤平生真賞南海葉氏雲谷家藏正 即 **小南** 意田 山 瓏 坡

己巳秋做趙承肯筆 丙午冬初饭仲圭害 荷 **筆氣最雄厚鈴季彤審定印** 第 叢 烟 波浩淼 **虞山王 聖** 擔相 松杉掩映成趣 雜 四 林 頁高七寸 随村後流泉人 觖 處村落隱見傍溪 舟盪出 和 生計 澗 鈴潘氏鑑藏 **玉藍鷹近岸平** 尺青鄉設色 澗遥通石橋 郤 FII 此幅純 客前行 楓 疎 柳

夢園 以凍筆 灣 東釣艇 各駕 用枯筆 高松三株攫拿作勢下有草閣門臨溪流 第 自造錄一卷 河崖 滸 五頁高六寸七分澗 觙 挺 同中藏草閣臺漁升忽相並同釣 舟中流 極似山樵鈴河陽潘氏書畫印一方 山樵其 相遇一 延陵 竿方落一 氣韻得之一二未能也 兩山對時 一竿 五 一水中 兩 漁 同 黑 豹 微 來 涵

ノー ことの/電子大子工具を引き上 倪高士有獅子林圖余不欲擬其工壑形似之間當 溪山秋爽 寫其意 癸未長夏暑中小憩開戸納凉偶憶尚湖秋色漫 有致鈴石師道人季彤秘玩二印 極似雲林鈴東園聽風樓藏一 第七頁高 第六頁高七寸濶 麓臺亦 原 すっ 郦 分濶九寸五分枯木竹石皴法 即

錫 領其天趣耳 藏二印 山無錫是無兵恠得雲林不再生但完 第八頁高八寸餘澗一尺 第九頁高八寸四分潤一 須知我法本同 大致亦倣高士鈐聽驅樓藏書畫季彤鑑定珍 南田壽平 鎾 さま 即変 圓 稲 卿 尺尺一 **寸高樹敷株平** 兩松虬曲 如

おろび町井崎市市山田立大 行到水窮處坐看雲起時 哦亭前古木二 美俱備茅亭 第十頁高八寸餘濶 朱籐胷垂岩閒 **下有深潭對岸高峯插天雲氣迷漫山麓瀑布流** 至山陂有奔騰莫遏之勢亦佳搆也鉛季彤秘玩 顧殷 Eli 禹 功 區繚以迴廊中有客據案對竹吟 尺 〈黄彩昂首側身坐石岩上 (矯拔鈴聽肌樓書畫 寸石法透漏瘦秀 上

中の『出言『言真ない」とれ、一一一 **倣徐幼文筆法於靜者居** 俟齋徐枋 第十二 撲眉宇間矣鈴潘氏墨縁 第十一頁高八寸餘潤一尺 方 干尋飛泉百道樹下水閣 高簡 高 一頁高 之徐中杨 配信 簡 一尺澗一尺六寸層崖叠嶂之中小 一拔竹樹交加板橋 即 人捲幔看山爽氣百 徑

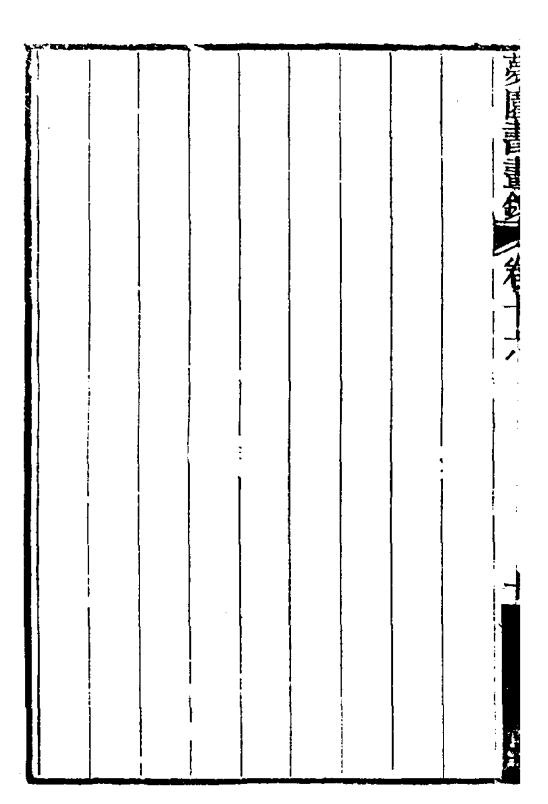
癸未春日 意之作鈐季形鑒定真蹟一 **落筆故留傳絹本雖** 樓兩跋鈴季彤正煒等印 王司農作畫必以宣德紙重毫筆頂烟墨三者有 王原祁 無過客氣韻筆意兼橅癡迂富是司農平生 刀耳此幀以大 1 做倪黄筆法於吳門舟次 不輕臨池除供奉外惜墨如金不妥為 膊 有司農親書歎識大率門弟 筆参以雲林妙諦澹而 印隔水紙上有聽帆 八 得

「アントーは」は「日本」という 鼎足也五家畫格 雖各有不同而大 **時可農年六十二矣畫圖留與後人看我輩飽供** 國 熙五十四年乙末年七十四歳此幀作於癸未 翰林厯官少司農生於崇禎十五年壬午卒於康 麓臺字茂京太倉人康熙庚戌進士由給事中攺 厚實而清南田石谷後以畫名傾中外者惟 朝畫所以不減於前明者以有三王 人耳已酉三月聽帆樓主人題 眼不勝欣幸之至聽帆居士又題 |吳惲後先

者非百計搜羅烏能集此大成耶 道光已酉浴佛日雨窗潘正煒書 疑手墳甚於朱元故: 吳厯號漁山常熟 **也以蔭官太常後隱於歸村畫得大** 而成如春之蘭秋之菊各擅所 隷精鏖藏著有西田集 王時敏號煙客太倉人文肅公錫爵 新世恵公**興**へない十上ハ 、與石谷爲畫友 人爭購之 長莫名其妙得之 九 凝神髓工 紀深 腋

惲壽平號南田武進人 印章不知尚駐人間否 文十卷日清暉贈言 海終竟不知所之 王原祁號麓臺太倉人康熙庚戌進士官少司農 王暈字石谷常孰人 水澹而厚實而清當日所刻畫圖留與後人 氣韻故當時有畫聖之目嘗刻名公卿投贈詩 **八逸之冠當時致書石谷謂仿古未能** 八作畫以宋元筆墨而澤以 、作畫秀潤天成入大癡室

5	***				<u> </u>	Charles of the	
TOTAL TOTAL STATE OF THE STATE		•					
到							
	\ \	}		j			破
					j		2 4
1.						į	写
<u>k</u>	1			 		,	1
							殆
k]			Î				A
		}		j		l	显
					,		哑
7				Ì			破窘字殆自謙耳
					. I		
							丞
					, ,		无
		İ		ļ	•		形
		-					再
		1			İ		季兆再筆
		ł	ļ				平
		1					
-1		Ī					
			ļ				
			İ				
						ļ	į
		ŀ					
		ŀ					
						<u> </u>	



一世の国生主主義を一名十二人 國朝名人書冊 丁亥正月書於湖口舟次 俱不欽 爍今竿客藏玩鈴劉印坦吾竿客一字等印詩 脫顧南雅小楷書胡笳十八拍計十頁簽題震古 景詞八首計九頁陳曼生手札四計八頁內有簡 律詩六首計十四頁鄭板橋書和洪覺範滿湘八 紙本高濶不等共二十 奕禧 神界 五開集陳六兼行書七言

草草勞人何時息足徒自憐耳董老挾書畫以來游 椒畦尊兄孝廉執事春間辱 侍买百福所會是祝弟摒擋粗了於月之九日挂 雅貺愰何敢當拜領之餘曷勝銘泐邇堆 手教并紫 愚弟陳鴻壽頓首謹狀 **欲作卒歳之計先是病卧者兩月有奇亦不得已** 午秋日書於范縣衙齋 板橋鄭燮 15 棚 NEW YEAR 俗吏 斯尼 占胜 され 川青 妣

心注蒙 或可減值歸 水意與 **警撰宏盲動定吉羊良慰所祝壽鹿鹿依舊善狀 麦江分科匆匆三年比想** 真賞者惟下缺 足下有舊必不至失望因聞有真蹟特以一 無幸賤雕廳適可以告慰 言寫介 上員

夢園書畫鐵《卷十二八 甘亭仁兄大人侍下 **鲍**照不具 第 鴻壽再拜 通安餘不多贅 尊安統希 足下善圖之手此奉佈藉請 不盡欲言兹乘羽便率沙數行順飲 漢史焚香捧誦爾蓮此奉謝 左長 副

要直書畫後人谷十二八 當學通天人者其如 **綠有幾條蓄疑樂問個明白也果泉中丞風流瀟洒** 舊恙時覺不良於行且 **外不見况味想佳弟** 知已也頻伽時常晤近况亦甚竭蹶終日忆碌碌亦 摵飢驅逼人真不堪告慰 耳校勘追熙本文選想已刻板務將樣本寄來 不過是東抹西塗爲它人作嫁衣裳於已毫無所益 到浦經月抗塵走俗忽患腰 一目疾又發殊爲苦事秋風 蓮空 士至 一人 一人 一大大大 觀

尊安惟 甘亭仁兄先生左右 嘉慶二十年歲在乙亥十月書於愼中烱安試院 問 足下賓主相得誠為罕事令人 LIN THEN LIMIT LIMIT 愚弟陳鴻壽頓 之鴻印壽 図 十六日 、豔羨不已也肅此敬 干硬套

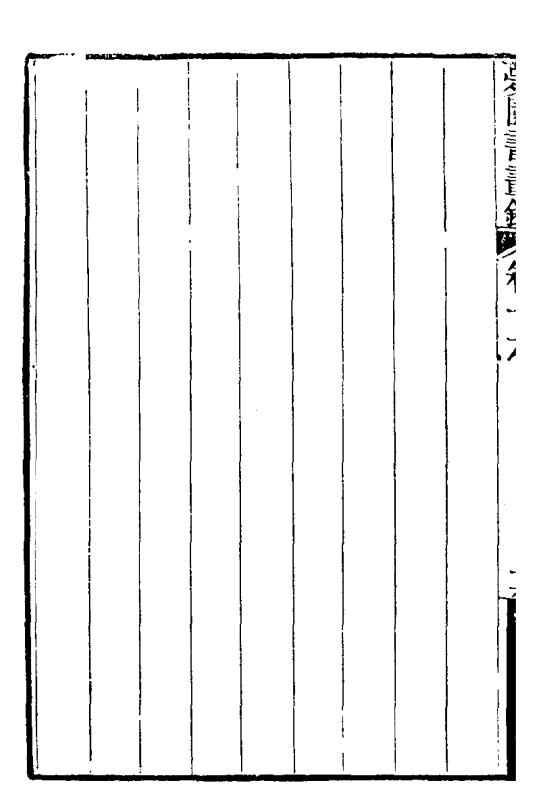
西戸司は言葉型を大学ないよう			
			吳縣顧稀 鬮 鬮

		ASSESSION OF THE PRINT SENSON OF THE PRINTS

は見聞は言葉語歌画へ谷上十二つ 王文安行書長幅 楊炯從軍行王鐸辛卯春夜為 五柱者道盟書 圖 為存 工道 七五

				A PER LAMBIT ANI STATE

齿!!	! ! !				
出ア自動車が入るとし、	廬山五首之一王鐸 疆	一首 (E) 一百 (E)		二王鐸區	高五尺二寸
	※	潤 尺			
		七寸三行寫五律			
		五			



おプロ判断が世紀を大している。 跋 之 墨 生 紙 子閏三月二十五 愛首題: 印 一淋漓氣勢酣暢前列 一接後作無葉之蘭一 盆中發三花菱後之蘭 本今尺 枯繭復花 高 二字九沙二字南雪齋吳氏筠淸館 過長 尺長三丈一 一日,用上晚學萬經敬書鈴萬經 卷 一個八分書五字女三康熈戊 莖三萼上 同觀諸人姓名後自題 尺五寸六接 〈後復爲峭壁 一題儀 圖 国雨恭先 一幽壑水 A. 1. 2. 13. 14.

でのは当年当日全 **鑒覧之章接縫處鈴南海吳氏賜書樓印中鈴何** 其長寶用惡禽心賞伍氏燈觀悶書畫之印儷荃 海山仙館 陽潘氏書畫後針伍元蕙儷荃甫評書讀畫之 藏書畫子孫汞目端溪何叔子瑗玉號蘧盦過 經籍金石書畫印記伍氏南雪齋藏等印隔水綾 上鈐季彤 | 翰墨潘字圓印子部審定潛夫| 秘玩緯蕭草堂畫記卷首鈐子子孫 **| 人臣印天池集虛| | 字儮荃秘玩迂** 屋鑒賞何紹基觀會在錫 一字萬 印 淵 眼

一により、「大名百年1月年1日」とは、 蘭於旣娄後條發一 道其發則蘭之爲其所以發皇者果蘭之爲耶蘭花 **晔行塢傅夢楨劉嬴州米牧仲朱赤城主人玄平號** 雨恭時同飲三槐下 已丑五月夜同觀畫梁眉居黄于石張坦公張玉調 一丑夏五月二十二 樓藏季形心賞吳印榮光 鼓遺 等印 雙螭印南海伍氏南雪濟秘笈印迁恭主人 吳氏端溪季形三 一日聞 莖三花子駭焉萎而花此中 一印同前後跋鈴御書懷抱淸朗 王鐸 雨恭先生閣下盎中 7 / 聽 颿 建

12八十日町田町田全出 /今八 1 11 爲政哉噫 馨于骥爲王者篤材不與凡卉伍吾於斯率爾席 即寫蘭卷又紀其三花之 於萎荄勃然生靈光奇馞於戲蘭亦受命者 不鬥艷於鼠姑將離吳乎爭映景乘旺萼鞋 宗狼臻茂開一代之昌運必得一 日千葉萬等 即同百物 中抱德者也孤秀幽殿異乎衒無人 公之 之者不能悶児天况地况人 所以楙昭前路还區以發皇者 雨先生為 國家發無窮光華流 代異人 八淸湛異乎徇 、児蘭

藤圃中 日吾以此卷劵之矣西洛王鐸跋並畫時及燃炬在 六十載矣子方重脩中州會館適攜是卷於篋 筆畫蘭爲長卷並圖菱後之一莖三萼而題跋於 集同鄉諸先達暨子姓賞之時王交安公在坐援 尤盛不禁撫今追昔之感焉予赤秉權衡頃以老 **曩時同席諸公子孫半在京師而予子孫較** 後予年十六侍立旁觀屈指今年七十有五忽忽 順治已丑夏五月先文康公京師別墅枯蘭復花 源 雪 潭

上

100/10日三日三日三日日 **藴 也 孫 琳 聲 今 官 刑 部 郎 中 傅 公 夢 楨 登 封 少** 廉瑞海今除江西南豐令黃君于石洛陽人東阿 畫者梁公眉居蘭陽少司農謚康僖雲構也孫孝 疾乞身紫 **令甲第也張公坦公新鄉少司空縉彦也張公玉** 削誨以副老人之望庶可附斯卷以不朽云同觀 調永寗少司馬鼎延也薛公行塢孟縣少宗伯 幅示予子孫勉旃毋总先公之遺澤及鄉先生 聖恩優與予告瀕行爲紀其事於末

按察使筠舉人姪起彻廣驛鹽道孫如金候補 事吉金新除湖廣辰州府同 斯孟津大宗伯謚文安鐸也今公孫鵬貢生曾孫 道御史予字牧仲子至今官翰林院編修致福建 眉榖主事俱需次在京外孫吕公履恆今官廣西 孫燦候補知縣赤城子族姪諸生之城也王公覺 **祚符大司冠謚勤僖昌也姪士聰今官** 一十五月商邱宋築識 部別 UM 計山 知康熙戊子閏三 . . 內閣

開生面 覺斯草書絕偷實出自懷素至畫法 嘉慶十八年癸酉孟冬朔日霜降節悔盦居士 **醫春農復以見示索題漫書淸平樂一** 見之欲以見貽未敢受也兹於病廢之餘違來就 **花草草可憐白髪王郞** 楚香魂返幽夢經年斷廿四番風都不管一 鄒丈春農藏弄此卷極筆墨之偉觀十餘年前曾 良夜喚酒槐堂燈前墨彩生香狼籍花 少炭 解於卷尾

は、同じものではなど、なべい 雲真非凡品春農寶而藏之誠足干古也 蘭枯不生蘭自昌蘭枯復生蘭更芳東風駐世長 冠裳園林木革爭輝光根麦九地飽雨露花葉 而此卷尤 不死但有歲月無追桑識時務者推交康首議廟 四風霜燕山 人共得意之作正所謂胸羅星斗筆弄烟 **菲希曾** 跋 一夢醒聞國香酒酣磅礴烏衣王

子が 日生 ヨヒヨ 日本学 人女で コ・コノ 盛事清芬端台丽先人 帮氏 與叢長養花添 小圖 横應落各有態直以草聖兼詩狂丹青果屬右丞 荷屋老前輩大人屬題即請 南子固空悲傷 相各德合作中書郞吁嗟乎名德合作中書郞河 **卷摩抄筆有神**留與高齋增眼福披圖長得 圍雅复盡嘉賓偶爲幽蘭妙寫真名繪自應傳 館後學程思澤 北京 臃 正句正字

					1	<u></u>	1	!	
3	1		ļ	İ	!	į		į	: I
1	ŀ		İ			•		į	;
ij	<u> </u>	ŀ		ĺ		1	İ]	; ,
*		l .) 1	ł]		1		北太
1	ŀ				•	ļ			1円
		ļ			ĺ				
Ī.									
丞	ļ]]		[·		_
K		l i		i					七
				[-	اعيدا
							ĺ		おり
[4]						•			其居
7	i] .				:			取
	Į.		Ì.,			ļ			
-	}	[j			l			人【
治公司的女子女正成人 人人				: I		l	!		荷屋老前輩大人
\]				ŀ			人
		!		<u> </u>		}			宝
i									周
									屬題
		i 1							旭
i		1	-	i	•				
		1							
			1						ALL
			·]	- 1		J			
ļ		ļ		1				所制	/ !
1] }		ł			!	計劃	17
- 1	,	! !		i			,	ļ	占
!		1	i	i i		i	<u>'</u>	鑩	館侍卓秉恬
17.19		1	1	j			1	表过	F C
<u> </u>			ĺ				i	i	不
E.	,	' i	ŀ			;		l i	江
8		i	}	ı				j	
E	1			ŀ					
	J	1	1	ŀ				1	ì
	i	i]	ļ	1
			1				i		
				İ				ŀ	1
		j }		ļ		ļ	j	Į.	į.
	l				!		1] !
		'	[į	1	
								:_	

				古ろにと言言言語など
	4	·		+/7+

土文安山水小幅 庚寅七月廿日 一雨中洛人王鐸 鐸

|--|

LITE THE LEGISLAND AND A TO A 一样題耄耋圖小幅 **巢民冒襄**寫於水繪閣

地名は単言語の名と Ē

当ず見引世ヨ世里な火国へいた」と 漢泉氏 疆姬 氏珍賞 紙上 心賞曾在 紙本今尺 頁綠竹 一各有辟疆題跋後跋三 花卉冊 印及錢 **斯斯** 气 氏 家 藏 华 及八寸潤 FJ 家羅印兩峯等印 上棲雙雀右鈴水繪庵學畫女 印記 小天頻閉主 三頁針理卷輭 一眼何理盦 、新安項源 樓 、隔水

正クに 言に言り金一人名 ーーノ 第二頁墨筆芙蓉問以疎葦右鈐金玥字圓玉印 季角道契 雪後空庭氣蕭瑟干頭紡竹獨嬋娟是寒凍進思 麗 微禽亦有知心乎此君愛雪天萬木凋介節與松 綠竹爭野色幽禽安勁枝雙棲殊適 配雙抱青琅玕不露號寒態 飲啄斜日踏枝相對眠 長りて **阮亭士貞** 釀餡 題為

話を割ますまま派したと十七八 倣 米 元 昨 數
造
未 秋水 綽約 第三頁石畔 拒霜 日 K 稍 屏 弗 花開今 が舒力 、筆意 一秋江 紛秀色依稀翠羽 御容華深 水墨蜀葵 人誇 之目 臉上 玉山女子金玥 好顏色 開今日花正好 自匿 **药**目式人 枝 韻絶水繪園符 **灣風姿露骨** 客 Ell 開 剛

此花亦飲酯酒意也 選 第四頁秋水滿溪灤涧石嶼纖鱗爭喋於萠荇之 巢民先生題此幅自萬頗深余衍其意為絕句以 分明黄金杯幻作鳥玉琖戎葵非 殿諸前輩後真續貂矣樊榭山民厲鷃 公子看畫花枝學信陵 金琖橫欹醉不勝墨痕秋暈 看書當飲酒此老與不簽 一於菱葉之上筆具化丁 便是 詩解 族秋圃推

正式は記述言は思想を取った。こして 寫柳思溪記小石潭意 巢民先生十二年之 馬處江南落日白蘋州 堂堂策策百千頭武葉菱花滿碧流彷彿吳興騎 季角道契題并正 柳愅騎馬歸李賀詩句士貞爲 南田花渚能臻妙又見青溪魚藻圖閨秀似嫌脂 鈴金玥字圓玉印右鈴錢氏家藏印 粉涴偏於林下寫菰蒲)別聊當晤對耳 製閣水 量前律 棠村 山荃 頁 轨

不可辨 第五頁山茶 憨何來紅蜻蜓唼葉如蜂貪 風趣也 寫出水汀勝依然小石潭輕鯈對對過 幀極有致此作蘋花戲魚與余圖意合甚得水 余曾 取趙吳與華溪漁隱落花游魚兩圖合成小 年 東西 株紅葩齊放左鈐同前印又一印 門間

至了自己出手性里女火町へ会下ししい 在何必隨人畫仕 百斛臙脂漬二 即為松柏助巖谷迴春陽 白帝傲東皇能將葉作花異哉草中仙艷 **淺碧深紅媚藥欄愛他獨耐曉霜寒莫 | 声桃李娛** 第六頁老少年一本粉蝶栩栩其上 月丹是豪客逞艷霜雪中號為兒女花調 公俄傾迴春暘弱捥居然雄 圓 盤淋漓紅爛共君看須知別有風光 丹 棠村 隆 三くでは、一点を表現が開発され 如桃李

せる。正当に当点金二/名「一」ノ 得最憐花底一 閉門娛我是秋容兩兩鳩啼兩後松放楊晝眠閒自 容思一 寒花綺石破蒼烟雨葉風枝最可憐蟲語西堂 隱立花際運筆獨出匠心 第七頁牽牛纒竹山石玲瓏下 天孫淚所染青士應見憐菊婢更嬌好弄姿卷石 一庭秋色暮雲天 一群蛩 騆 帽穿 棠村 町町 二知劃 - 有海棠數本唐即 坚

田戸置建雪建立光文化トレン **雪紅香若無此披** 與梅花作小友心 古人品花謂水仙不堪爲梅花作婢此語大不 共語之 記得凌波微步來明珠翠羽共徘徊洛川 ·仙當宗趙子固此 題先生正之知予近况蕭瑟如此王士貞書 八頁水墨雙鈎 隔空貨陳王八斗才 悲也 何 耿 **數枝香雪亦太孤另矣余謂** 本行筆秀整能得趙氏遺意 之<u>国</u> 胆囊 悼込之後題此不自 元原の後の大学 晚 同前 神 旧

壽平題 我有雞齊卷儷蘭得神似瓊閨一枝筆仙乎秋水眉似蒼梧九點山 敦復英 魍姊妹相依白石間輕納衫子綠雲鬟神如湘 第九頁黑雲壓堤柳絲搖曳一 體南田佝推重艷漏妬公子 印同前 足令琴川吳冰仙海昌李是庵鋥席也丙辰夏五 枝筆仙乎真具

古で国門世門は国本北の人名しい 獨宿偏留 緒

宗

雨

將

至

過

肺

時

所

方

一

に

前

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に<br 寒塘不並飛紅衣渺儔侣多情隄上 文禽底事未雙棲隻影流連向柳堤爲妬鴛鴦 深黑可似橫塘欲墮時 飲手退避因 教正 [頸如何有別離] 頁墨石 澂 簡錦塘西 孙 卷蠟梅數枝縢以天竹朱實壘 蛟老屬趙勉應之究多生澀耳唯 風中楊柳碧 讀阮弘詩數過不得 **楽青** Ħ

でうしはヨモヨロ金三人名 取歲寒意不無如青配白耳 無針印 夢早檀心全為歲寒開於色觚荒 英在肯使住人怨白頭 **香生姑射仙人筆色倩薔薇露點裁不作羅浮春** 冰雪閉門凍玉樓暗香獨傍小山幽歲寒頓 **咸寒此光物坡谷易名 蝂 媵以赤珊珠天**菜 七十又三青山老人力疾草 清標 剂 品山老人 0荃

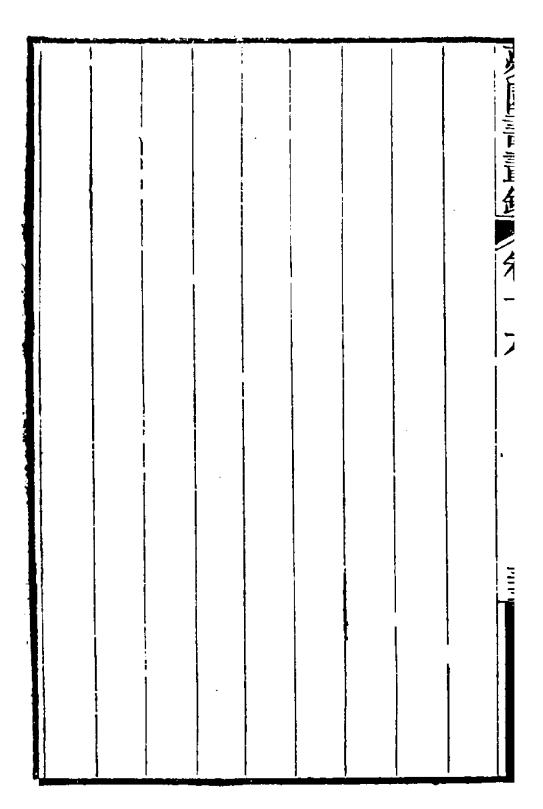
夢園書書歌♥〈老十一へ 茶 隐 七 中以花卉二十幅見奇鮮妍生動妙得古人之意 有出藍之美然生意淋漓絕無摹擬之迹 姬 兩過 又以意為之索值與昂姬人卅日臨之 **遷購古今名人卷冊攜來共賞前夏** 朱後髮格也 必以廟後花香佐一歲閨中清供知余兩 甲寅中秋夜天玉砌明月滿 順題 汝圭與余訂岕若之 翻 献子 し雖不能

余讀 城 水繪菴巢民老 語姬人不免 難兄叔定爲之 日 西梅花 民國教師的 下盡出 同 並 疾過 有玉蟾蜍滴泪之歎亦不 和會余何敢惜因書始末於後歸 冒襄題於寓齋丙辰花 行篋閨畫披覽蛟門尤愛此 「諸題」詠者甚衆毎以 時壇站之 傾倒連流於 顧地 册

いっていますといいとと 歸愚子沈德潛題於春 安史等是冊豈非縁之所繫得所遇而逾傳耶 脱去 題跋者皆當時巨手筆洵 同曾楊兩孝廉從游歎息焉又嘗見趙文淑函 往昔見李陀那朱若耶二 彰矣噫佛氏之所謂因緣即儒家之所謂遇合此 不乏抱絕藝以湮没委珍物於塵土者若 | 置氣| 姬郭七十窮老顏一 冝 蛟門 |田草堂 可謂善美兼并相得愆 生愛之重之 姬執筆養之余嘗 勯 書畫並為 **£**11.11 其所信

東記言言語なった十二ノ 致喟 程遂題 滴似豪士可以想見其人而辟噩於聖僕齊年 夜縱觀對碧海青天而撫卷不已也 中人日金日際之 孫女畫名重海內以 蛟門先生一日眎我昌家畫冊乃辟疆房 進退) 繪事蔡則柔弱如處于金則淋 偶出世不知所終益爲

蒸含女史花卉冊 当員書き変える十七八 未清明前三日寫於天香閣 繪 絕無閨閣稚弱之筆 末頁第一 紙本今尺高九十 四頁芙蓉桂花秋海棠五頁菊花六頁 八頁水仙山石通幅折枝寫生落落大 **頁天竹雕梅二頁芍薬三頁枇** 頁天竹臘梅二頁芍藥三頁枇杷杜鵑1巣民辟蠠等印毎頁有蔡含之印敦署 寸澗 之素 一寸共八頁前後鈴水 秦中 噩



古る自己は田世のは大学へみたししい 金曉珠女史工筆翎毛小幅 康熙元年歲在壬寅冬十一 月季二花二萼抱樹蘭草一叢細緞工秀樹一株結實纍纍壽帶一雙一翔一集下有粉紅 綾本今尺高二尺一寸澗一尺一寸七分工筆杏 水繪巷蘭閨學畫女史金明 圞

